

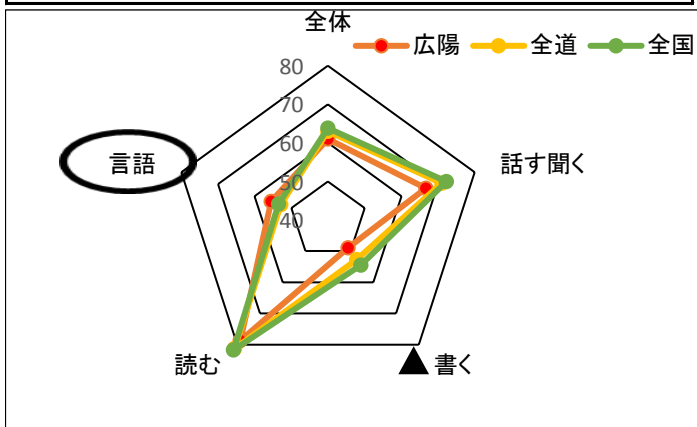
R 1 全国学力・学習状況調査の結果について



平成31年(令和元年)度の全国学力・学習状況調査について、本校の結果と今後の取組についてその概要をお知らせいたします。帯広市全体の結果については、帯広市ホームページに掲載されておりますので、参考してください。

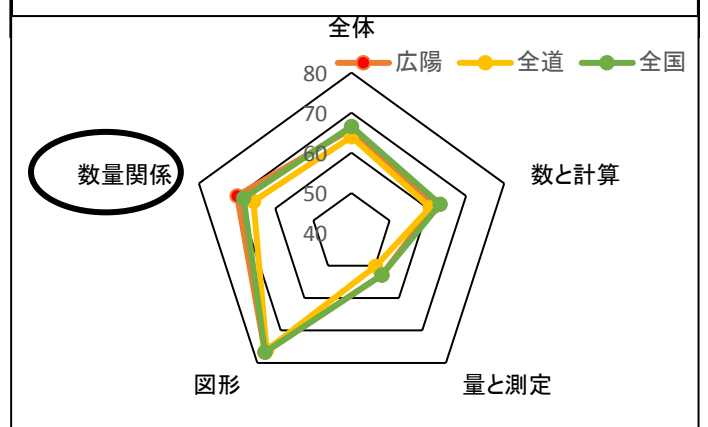
<国語>

平均正答率は、全国平均をわずかに下回りました。領域別では、「言語」で全国平均を上回りました。これまでの課題であった「読むこと」において全国平均とぐんと近づきました。「話す・聞くこと」「書くこと」においては全国平均を下回りました。特に「書くこと」については、全国平均との差があるため、引き続き全学年で確実な定着に向けた取組を進めます。

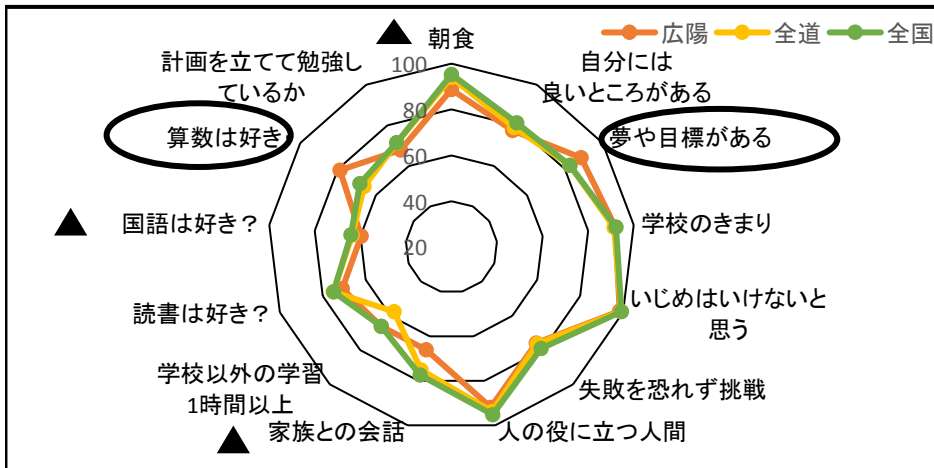


<算数>

平均正答率は、全道平均を上回り全国平均とほぼ同じでした。領域別では、「数と計算」は全国平均をわずかに下回ったものの「量と測定」「図形」は全国平均と同じでした。「数量関係」においては理解定着が高まり、全国平均を上回りました。今後、基礎的な内容と活用の相関性を分析していき継続して指導の充実に努めます。



<児童質問紙の回答から>



【全国平均より高い割合の項目】
○将来の夢や目標を持っていますか。
○算数の学習が好きですか。

【全国平均より低い割合の項目】
▲家族と学校の出来事について話をしますか。
▲国語の学習が好きですか。
▲朝食を毎日食べていますか。

【今回の結果を受けて これからも学校全体で取り組みます。】

「全員がわかる、できる授業」「楽しい、もっと知りたい調べたい授業」を目指し

日常の授業改善に努め、基礎・基本の定着を軸にした学習を進めます。

- ①国語、算数をはじめ全ての教科や活動で主体的に考え、豊かに表現できる児童の育成に努めます。
- ②特に算数科では、習熟度別学習や個別指導を進め、充実を図っていきます。
- ③道徳科の授業を中心として規範意識や自己有用感、所属意識等を更に高めます。
- ④読書活動や書く、伝え合う活動を通して語彙力を高め、対話や学び合いの時間を大切にします。
- ⑤学習規律を徹底・定着することにより、落ち着いた学習環境づくりを継続します。
- ⑥各家庭やエリアファミリーの連携をより充実させ、家庭学習の習慣化、内容の改善、ゲームやTVの視聴時間の短縮、読書の時間の充実に繋がります。

その学年での学習内容を確実に身につけることができるよう、学校として力を尽くしていきます。



|